

# しのぶ草



平成 26 年 3 月 17 日発行

発行：宮崎市教育委員会文化財課

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

平成 25 年度、当館では、「きよたけ歴史講座」、「宮崎の縄文講座」、「宮崎三計塾」、「歩こや清武」、「文化探訪バスツアー」、「夏の展示」、「秋の展示」、「企画展」、「呈茶」等々を実施してきました。それぞれの事業への多くの方々のご参加、また、日頃の当館のご利用、誠にありがとうございました。次年度も、様々な事業へのご参加を含め、当館を大いに利用していただきますようよろしくお願いいたします。

## 《 幼稚園児茶道体験 》

2 月 21 日(金)に、清武幼稚園の年長組園児 25 名が香梅庵で茶道の体験をしました。可愛い手で大きなお茶碗を抱えて神妙な面持ちでお茶を飲む姿がとても愛くるしい感じでした。よい体験をしたと同時に、幼稚園生活の思い出の 1 ページにもなったのではないかと思います。



## 《 呈茶 》

2 月 4 日(火)から 9 日(日)までの 6 日間、毎年恒例の「呈茶」を行いました。期間中大変多くの方々にお茶を楽しんでいただくことができました。と同時に、安井息軒先生も愛でた梅の花をも楽しんでいただけたのではないかと思います。これもひとえに、お世話をいただきましたお茶の先生方やお茶を習われている方々の温かい奉仕の気持ちに支えられてのものです。ご協力をいただきました全ての方々に、改めて厚くお礼を申し上げます。

### ★ 行事のご案内 ★

#### ◆ 「上井覚兼日記を読もう①」

日時：4月26日(土) 13時30分～15:00

講師：当館職員

※当日参加も可です。お気軽にご参加ください。



## 《宮崎の縄文遺跡紹介⑪》

### 清武川周辺の縄文晩期の遺跡と扁平打製石斧

後期には拠点集落が多く見られた清武川中～下流域ですが、縄文晩期になると宮崎大学の敷地内にある平畑遺跡や青島付近にある松添遺跡以外では小規模な遺跡しか確認されていません。晩期の遺跡数自体は後期とあまり変わらないのですが、前期～中期の遺跡と同じように遺構は見つからず遺物だけが出土する遺跡が多くなっています。

この頃より少し前の後期後半ごろから特徴的な石器が見られるようになります。それは扁平打製石斧と呼ばれる石器です。打製石斧といっても木を切るためのものではなく、鍬のように使用する土堀具と考えられているものです。この石器が各地でよくみられるようになることから、縄文時代の終わりごろから焼畑などの農耕活動が徐々におこなわれるようになったと考えられています。

水無川右岸の角上原台地上にある清武町今泉の三角堀遺跡では縄文晩期の土器とともに扁平打製石斧が出土しており、また炭化したドングリが出土した土坑も見つかっています。このような組み合わせは縄文時代を通じて食料とされたドングリ類の採集活動に新たに農耕活動がくみこまれていた証拠といえます。

これまで稲作耕作中心社会となる次の弥生時代は外部集団からの影響で突然はじまったと考えられていましたが、近年の調査成果から農耕社会への下地が縄文晩期に生まれつつあったという見直しもされています。



扁平打製石斧(左)とその使用復元イラスト(右)

(文責 秋成)